

福祉部の活動

～愛のネットワーク（話し合い・助け合い・生きがいづくり等の）活動

福祉部の活動目的は、地域住民が主役になり福祉活動を進めながら、お互いに助け合い、支え合っていこうという気持ちの輪を広げ、「誰もが生き生きと安心して暮らせる地域」をつくっていくことです。

◎定期的な話し合い

地域の人、地域のことに目を向け、話し合いをする場を設定します。

例えば、地域で困りごとや悩みを抱えている人、声かけの必要がありそうな人などについて、また悪徳な訪問販売が地域で出回っている、粗大ゴミが放置されているなど、地域のことについて話すことで、そこから福祉課題を見つけたり、取り組んでいきたいことを提案したりすることができます。

◎助け合い活動 ～声かけ→支え合い→連絡の体制づくり～

地域内にいる「ひとりぐらし高齢者」「高齢者夫婦世帯」「寝たきりや病弱な高齢者」などで、地域で声かけや心配りが必要ではないかと思われる方々に対し、緊急時の連絡体制を整えたり、定期的な訪問や電話での声かけをおこなったりしながら、地域でできる助け合いをおこないます。中には、突然の訪問にとまどう人、人と接するのを嫌う人がいます。このような方には「カーテンが数日間も閉まったままでないか」「夜には電気がついていないか」というように気にかけることも一つの方法です。

『声かけ』・・・訪問や電話での声かけ、周囲での目配り気配りを通し、話し相手、相談相手



手として、健康状態を気に留めたり、生活上困っている問題や要望などにいち早く気づく

『支え合い』・・・相談された要望に対し、地域で対応できることに対しては、支え合っ



いく

『連絡』・・・地域だけで対応できないような問題や、緊急時にできるだけ早く対応できるようにするため、福祉部長、民生委員児童委員、関係機関（社協、行政、支援センター、病院、福祉事務所など）との連絡体制を整えておく

◎生きがいつくりの場

日頃外出したり、人と交流する機会が少ないひとりぐらし高齢者などが、気軽に楽しく参加できる、生きがいや仲間づくりの社会参加の場を提供します。

⇒会食会、お茶のみ会、バスハイクなど、皆で集まりおしゃべりする場

⇒手芸、折り紙、カラオケ、ゲームなど、趣味が生かせる場

⇒将棋や囲碁、盆栽などができる場

◎その他の福祉活動の展開

地域の住民が、自分たちの地域を暮らしやすくするために、地域福祉の充実につながるような取り組みを話し合い、各地区で特色ある活動をすすめていきます。

⇒子どもへの読み聞かせや、親子でおやつ作り、工作などの体験教室

⇒男性料理教室

⇒健康や医療についての話、消防署、警察署などからの話

⇒福祉制度を活用しよう、紹介しようと思っても、どんな制度があり、どこへ申し込みをすればよいのか、また料金がどのくらいかかるのかが分からないので、関係機関の人を呼び、情報提供の場を設ける

⇒家庭で寝たきりや認知症の方を抱える家族、また、いつそのような立場になっても対応できるようにするために、介護方法や認知症についての講習、施設見学、体験

⇒福祉体験や支え合いマップ作り

⇒ひとりぐらし高齢者への誕生日手紙やプレゼントを作る、配布